

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：陽だまりの森

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護 （該当に■）

日時：令和6年 5月 15日（水曜日）13時30分～14時30分

場所：陽だまりの森 多目的室

出席者：4人

利用者代表	0人	知見を有する者	2人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	0人		
事業所職員（職名：管理者）			2人

報告事項：

利用者の状況

① 入所者 2ユニット 18名 1ユニット 9名

② 要介護度 平均 要介護 2.5

③ 男女比率 男性 3名 女性 15名

④ 年齢 平均年齢 90歳 最高齢 99歳

⑤ 地域別利用

大田町 7名 久利町 2名 三瓶町 1名 長久町 1名 鳥井町 1名

川合町 1名 大屋町 1名 温泉津町 2名 静間町 1名 仁摩町 1名

1 活動状況報告

3月～5月までの活動報告、5月～7月にかけての今後の活動予定、その他の項目として、施設での面会対応について報告した。

2 意見、要望等

○委員より

ホームページを生かしているのか。利用者の家族もホームページを見ていることも多く、また運営推進会議の報告のアップも行っている状態である。

行政より、運営推進会議の報告についてのアップは事業所で行ってもらうように依頼をしている状態であり、出来れば検討してもらいたいとの事。

返答 ホームページは開設しているが、アップデートしている状態ではなく、今後、検討等を行う必要があると思われる。

○委員より

BCP の訓練等について、飯南町では地域や保険者（運営推進委員の方）への参加促しをしたり、大田市にある事業者協議会なる団体と似た団体で飯南町でも災害時の契約事項等を取りまとめているとの事。まちセンとの連携が良いのでは内科と意見をもらう。

○委員より

加算の算定はどうなっているのか

返答 現時点では加算の算定については現状維持となる。今後、協力医療機関連携加算等の算定を検討している。

○家族より

ラインでの面会をキーパーソンだけでなく、他の家族(県外等)にも活用出来る様にしてほしい。

返答 検討させてもらうこととする。

○事業所より

- ・面会制限について感染予防や体調確認等を行いながら、短時間(10～15分)、仕切りを付けて多目的室での面会の継続中である事を伝える。
- ・今年度より、幸久の家として各部署から集まり、感染症対策委員会、虐待身体拘束委員会、災害対策委員会を運営していくこととなった。
その際に BCP の見直しや訓練も含めていく予定である事を伝える。
- ・R6. 6. 1～人事異動あり、管理者変更を伝え、該当職員を紹介。

(管理者) [redacted] → [redacted]

・次回 R6. 7. 17 (水曜日) 13 : 30 ~ 14 : 00

以上